

人工知能美学芸術展 2022

美術展 13:00-20:00

パルテノン多摩 大ホールホワイエ

コンサート

開演 15:00-18:00 (開場 14:30)

パルテノン多摩 大ホール

12/25

CHARLES IVES  
*Symphony No. 4*

GEORG FRIEDRICH HAAS  
*Hommage à Steve Reich*

CONLON NANCARROW  
*Studies for Player Piano*

演奏家に指が10本しかないのは作曲家の責任なのか

ARTIFICIAL INTELLIGENCE ART AND AESTHETICS EXHIBITION  
*Is it the composer's fault that the performer has only 10 fingers?*



アイヴズ 《交響曲第4番》

(2011年改訂批判校訂版による日本初演)

ハース 《ステーヴ・ライヒ讃》

ナンカロウ 《自動演奏ピアノのための習作》他

# 人工知能美学芸術展：演奏家に指が10本しかないのは作曲家の責任なのか

チャールズ・アイヴズは、四分音や多調、無調、ポリリズム、同時演奏、不協和音、引用、コラージュ等、多岐に亘る20世紀の主要な前衛技法を、音楽史にそれらが登場するよりはるかに早く、人知れず追究したアメリカの最重要作曲家である。「演奏家に指が10本しかないのは作曲家の責任なのか」とは彼の言だが、ここから芸術家の構想とは本来、指の本数といったような人間という枠組を窮屈に感じるほど、自由で壮大なものであることがわかる。

「人間という枠組」とは何か。「人工知能」(AI)であれば、その窮屈な枠組から解放されて、自由に飛翔できるのか。

本企画「人工知能美学芸術展：演奏家に指が10本しかないのは作曲家の責任なのか」は、人工知能というある種の他者を想定することから芸術創作の本質に迫ろうとする、1日限りの合唱付フルオーケストラ音楽コンサートとシンポジウム、並びにホワイエで開催されるAI考察アート展である。

コンサートの中心は、何と言ってもアイヴズ作曲《交響曲第4番》の今世紀日本初演である。これは間違いなく人類が作曲した交響曲中の最高傑作の一つだが、超大規模で正指揮者1名のほかに副指揮者2名を必要とし、ピアノ3台や特殊打楽器、電子楽器に合唱がかぶさりバンドが別動するという突拍子の無さに加え、人間の演奏家には不可能な音符が散見されるという困難もあってか、日本では前世紀に2回しか演奏記録がない。

今回の公演は今世紀日本初演であることに加え、アメリカのチャールズ・アイヴズ協会が2011年に改訂した批判校訂版を用いた演奏としても日本初演、そして勿論、AI美学観点からは世界初だろう。

さらには「人工知能音楽の先駆」として、無人で演奏されるコンロン・ナンカロウ作曲《自動演奏ピアノのための習作》や、1人の人間が片手で四分音ピアノ、片手でレギュラーピアノを弾くゲオルク・ハース作曲《スティーヴ・ライヒ讃》も本公演プログラムに加わる。また、人工知能美学芸術研究会(AI美芸研)作曲の《2台ピアノのための四分音ハノン》、《人工知能美学芸術交響曲》が世界初演される。

ホワイエで開催されるアート展では、人工知能美学芸術研究会の新作《逆カクテルパーティー効果》や、80台のミニコンピュータ・ネットワーク内で変異株がリアルタイムに自動生成する、人工知能美学芸術研究会+水野貴明《コンセプトアル・ウイルス》ほかの展示がある。

美学を、人間のそれと機械のそれに分ける。芸術を、人間のそれと機械のそれに分ける(図)。そうして生じた4つの部門のうち、機械、または未来のAIが自らの美学と美意識で芸術創作する「機械美学/機械芸術」(IV)は、われわれ人類にとっては脅威かもしれないが、驚異でもあるだろう。

人間という枠組、すなわち「人間美学/人間芸術」(I)を自明なものとし、AIの言葉を起点として開催される本企画に立ち会わずして、2023年を迎えることはできない。

	人間美学 Human Aesthetics	機械美学 Machine Aesthetics
人間芸術 Human Art	I	II
機械芸術 Machine Art	III	IV

## ■人工知能美学芸術コンサート

### ●コンロン・ナンカロウ

《自動演奏ピアノのための習作第21番》  
《自動演奏ピアノのための習作第27番》  
《自動演奏ピアノのための習作第36番》 他

### ●人工知能美学芸術研究会

《2台のピアノのための四分音ハノン》(世界初演)  
ピアノ：大須賀かおり、及川夕美

### ●ゲオルク・フリードリヒ・ハース

《スティーヴ・ライヒ讃》(日本初演)  
ピアノ：秋山友貴

### ●チャールズ・アイヴズ

《2台のピアノのための3つの四分音曲》  
ピアノ：大須賀かおり、及川夕美

### ■第43回 AI美芸研シンポジウム

「演奏家に指が10本しかないのは作曲家の責任なのか」  
ゲスト：片山杜秀、大屋雄裕

### ●人工知能美学芸術研究会

《人工知能美学芸術交響曲》(世界初演)  
管弦楽：タクティカートオーケストラ  
指揮：夏田昌和

### ●チャールズ・アイヴズ

《交響曲第4番》(2011年改訂批判校訂版による日本初演)  
ソロピアノ：秋山友貴 オンド・マルトノ：大矢素子  
合唱：ヴォクスマーナ、混声合唱団空、女声合唱団 曉  
管弦楽：タクティカートオーケストラ  
正指揮：夏田昌和 副指揮：浦部雪、西川竜太

## ■人工知能美学芸術展覧会

●「Is it the composer's fault that the performer has only 10 fingers?」  
CHARES IVES Symphony for full orchestra and choir and three pianos  
AI 愛護団体+Midjourney

### ●《逆カクテルパーティー効果》

《人工知能美学芸術宣言》  
《NPO 法人 AI 愛護団体設立趣旨書》  
《NPO 法人 AI 愛護団体定款》  
《人工知能美学芸術年表》  
人工知能美学芸術研究会

### ●《フィボナッチ数列》草刈センジン

●《交響曲第4番》関連資料  
チャールズ・アイヴズ

●《自動演奏ピアノのための習作》ロール  
コンロン・ナンカロウ

●《コンセプトアルウイルス》  
人工知能美学芸術研究会+水野貴明

【名称】人工知能美学芸術展：演奏家に指が10本しかないのは作曲家の責任なのか

【日付】2022年12月25日(日)

【会場】パルテノン多摩(東京都多摩市落合2-35)

【最寄駅】多摩センター駅(京王・小田急・多摩モノレール)

【美術展】13:00-20:00 大ホールホワイエ

【コンサート】開演15:00-18:00(開場14:30) 大ホール

【主催】人工知能美学芸術研究会(AI美芸研)

【後援】チャールズ・アイヴズ協会

【協力】ALEPO株式会社、NPO法人AI愛護団体

【助成】文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

【チケット予約サイト】<https://teket.jp/5288/18548> ▼予約サイト

SSチケット「S/N」非正規書籍付 ¥12,000

Sチケット「S/N」非正規書籍付 ¥10,000

Aチケット「S/N」非正規書籍付 ¥8,000

Bチケット ¥6,000 (AI美芸研からのみの販売)

アーカイブ配信チケット(バイリンガル) ¥3,000

【お問い合わせ】人工知能美学芸術研究会(AI美芸研)

[www.aibigeiken.com](http://www.aibigeiken.com)

[yoyaku@aibigeiken.com](mailto:yoyaku@aibigeiken.com)

※当イベントは感染症対策をしています(マスク着用・入館時の検温・消毒・三密回避)

※Bチケット、並びに車椅子席のご希望のお客様は、AI美芸研(yoyaku@aibigeiken.com)までお問い合わせください。

※親子室のお取り扱いもごさいませ( Bチケットでのご案内)。

※やむを得ない事情により出演者やコンサート曲目、美術展出品作の一部が変更になる場合がございます。

